



<卓話> 宗像市長 伊豆美沙子

テーマ「海への感謝」

宗像と聞いて皆さん何を思い浮かべますか？宗像大社という答えでしたが、実は宗像は世界遺産シティです。日本に世界遺産は23か所もありあす。その中で宗像は平成29年に認定されました。「沖ノ島（沖津宮）と関連遺産群」ですから、大島の中津宮、そして皆さん宗像大社とおっしゃる辺津宮、この3つを総称して宗像大社と呼びます。認定当初は、沖ノ島とその回りの3つの岩礁だけを世界遺産に認めますというイコモスの考えでした。大島や宗像大社、福津の古墳群は入っていません。そこで首相官邸でロビー活動にて陳情した。

外務省や文化省も回った。そしてポーランドまで行きました。この日H29年7月5日といえば朝倉豪雨の日だったので、私一人会場に残り折り鶴を配りながら8つを世界遺産にと訴えました。21か国が加盟するユネスコで世界遺産を決める会議で、1国の反対はあったものの、それ以外の国は8つの遺産をまとめて世界遺産に登録することに賛成してくれました。

さて、世界遺産に登録されて、私たちは何をしなければならぬか、それは海への感謝をどう伝えていくべきかということです。そこで、宗像では海を大切にしようという「国際環境会議」を開いております。しかし私どものような人口10万人弱の市が、地球の70%を占める海をどうやって再生するか、どうやって救えるか非常に難しい問題です。すでに海水温が10年前にくらべ4度上がっています。海水面も上昇しています。これが11月になっても台風が来る異常気象の原因と言われていています。また今年是我々漁業者にとって今年の冬はブリがほとんどとれない地獄のような年越しでございました。これもおそらく海水温の上昇のせだといわれております。

宗像100人会議は会議だけではなく、フィールドワークもいたします。海岸の清掃活動にも皆さんのお力をいただいております。とにかく魚が獲れないので、竹で人工漁礁を作ったりしています。森は海の恋人ということで、森、山、里、川、海、この連携が海を守ることにつながるだろうということで、子供たちもたくさん参加しています。

じつは宗像国際環境100人会議には、多くの企業の皆さんにも参加いただいております。

この湖池屋のポテトチップ、西鉄ストアさんやJR九州とファミリーマートさんにも置いていただきました。おかげさまで当初100万袋を目標にしておりましたが117万袋売れ昨年完売いたしました。一袋につき1円もらえ、袋の裏面のQRコードにアクセスしていただければ、世界遺産にどんな意味があるかご理解いただけるようになっています。

今年は五輪イヤーですので、「ジャパンポテトチップス宗像」これをぜひ買ってください。

温暖化ガスが日本は問われています。しゃぼん玉石鹸とタイアップして、海を救うために「セーブ・ザ・シー」という新しいテーマを出して、界面活性剤を使わない石鹸を使う運動を進めたいと思います。

ゴミの分別収集も宗像では21種類に分けなければなりません。便も色によって分別します。また、2月からはもう一種、羽毛布団のリサイクルも始めます。

海のゴミを拾う、アダプト活動もやっています。アダプトは英語で「養子にする」という意味で、海岸のここからここまでの区域を、各団体や会社、個人が担当して養子にするように自分の担当地域を清掃するようにしております。



国際ロータリー第2700地区

福岡南ロータリークラブ

Fukuoka South Rotary Club

宗像の世界遺産を将来に継承していく一番大切なことは、海の環境保全活動だと考えます。

この宗像に根付いた意識を子供たちの世界遺産学習やふるさと学習を通じて、このあと千年にわたって続けていけたらと思っております。

最後に、宗像はグローバルアリーナや出光佐三が作った福岡教育大学など沢山素敵などころがありますが、いかんせん財布が小さいのです。本日の一番大切なお話しの時間です。

ふるさと納税でのご協力お願いいたします。宗像の新鮮な海産物がついてまいります。

世界遺産宗像は無電柱化の事業にも、宗像が全国のモデルとなるよう国から言われております。貫相談役の九州電力さんから多大なお力添えをいただいております。今後もよろしくお願い申し上げます。

